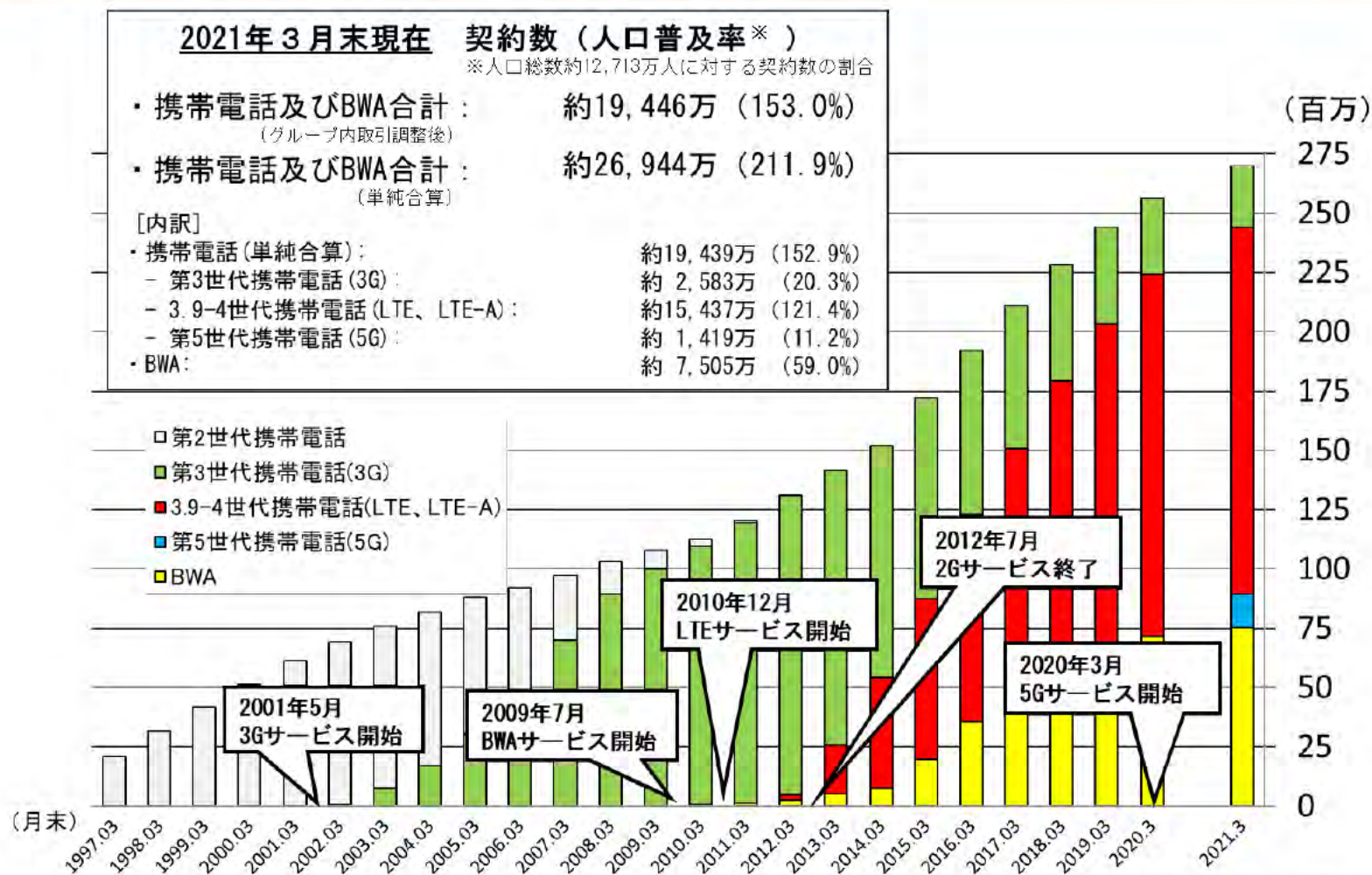


移動通信システムの発展

- 移動通信システムは、第1世代ではアナログ音声通信であったが、40年間で急速に技術が進展。クラウド、ビッグデータ、IoT、AIといった新しい技術とも結びついて、新たな多様なサービスが登場。
- 現在、携帯電話・BWAの契約数は、1億9,446万(2021年3月末、グループ内取引調整後)となっている。
- さらに、第5世代移動通信システム(5G)やローカル5G、Beyond 5Gなど、需要の増大やニーズの多様化・高度化とともに進化を続け、超高速化・大容量化等が進展。



契約数: 総務省報道発表資料「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表」
 人口総数: 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和2年1月1日現在)

5G展開に向けた取組

○ 周波数割当て・ローカル5Gの制度化

2019年4月に、5G用周波数割当てを実施。同年12月にローカル5Gを一部周波数で制度化。
2020年12月に、ローカル5G用周波数を拡張。2021年4月には5G用周波数を追加割当て(※)。

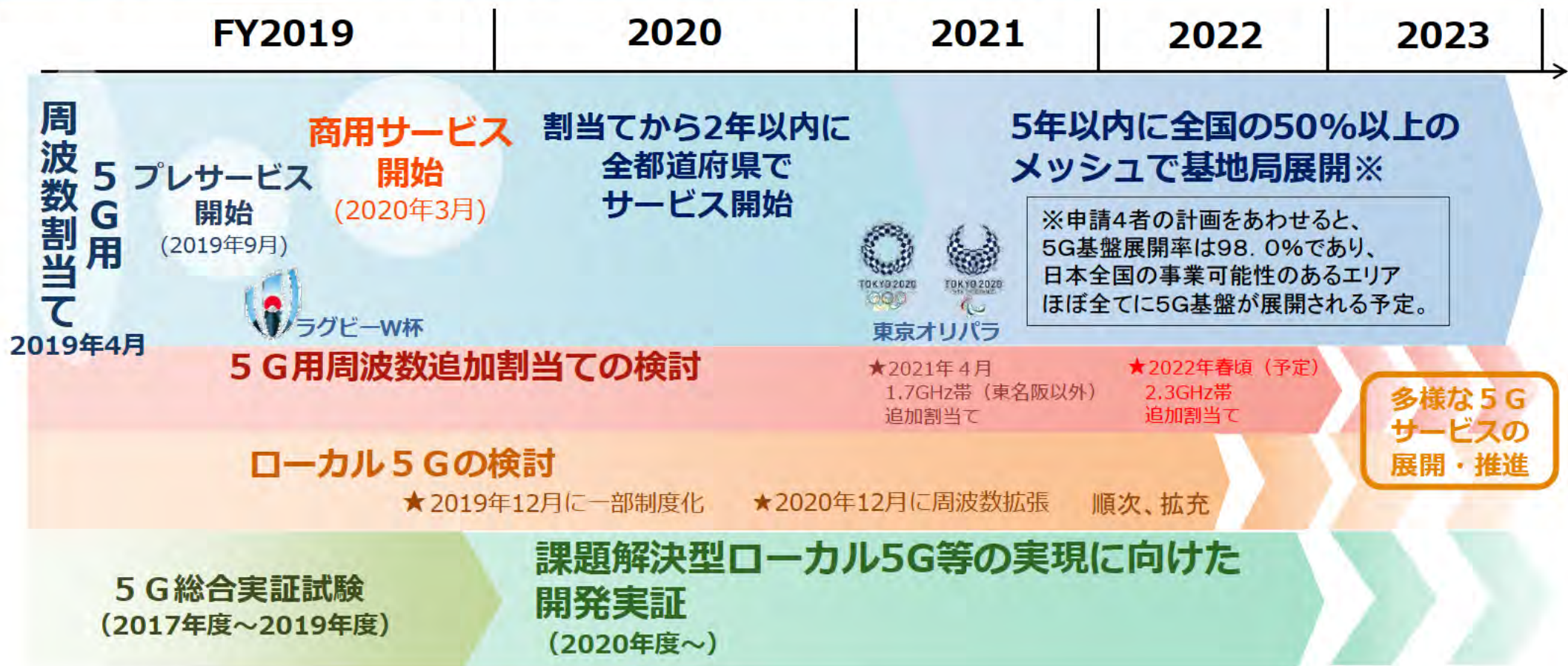
※1.7GHz帯(東名阪以外)の帯域

○ 5Gの普及展開・高度化に向けた研究開発、開発実証の実施

5Gの高度化に向けた研究開発や課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証を実施。

○ 国際連携・国際標準化の推進

主要国と連携しながら、5G技術の国際的な標準化活動や周波数検討を実施。



※申請4者の計画をあわせると、5G基盤展開率は98.0%であり、日本全国の事業可能性のあるエリアほぼ全てに5G基盤が展開される予定。